

令和7年度

2学年 社会科 年間指導計画・評価計画

担当【鶴見】

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	・知識に結びつく用語等をわかりやすく提示し、覚える内容を基礎・基本となる最小限の内容に抑える。 ・社会科の3技能「情報を収集する、情報を読み取る、情報をまとめる」を単元や各授業で効果的に定着や活用場面を設定する。	・単元を見通した問いを追究させる学習過程を設定し、学んだことを整理し、関連づけ、まとめる等のアウトプットする学習場面をつくる。 ・各授業の振り返りをワークシート等を用いて実施し、1時間の授業で学んだ内容をまとめる等のアウトプットする学習場面を設定する。	・単元を見通した問いを生徒自身で設定させ、自分たちの作った課題を追究させる。 ・単元を見通した問いに対する各自の予想である「見通し」を設定させ、本時での学びが課題追究となる学習場面を設定する。 ・生徒の疑問や知りたいことをできる限り授業に反映して、授業を構築する。	・クラスルームを活用し、生徒の学習状況を把握し、助言や指導を実施するなど、学習改善につながる評価をできる限りこまめに行う。 ・記録に残す評価については、評価基準を生徒と共有した上で、(全員B基準以上を前提として)生徒自身が目指す目標を設定できるようにする。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	地理 2 日本の地域 的特色	プロジェクト ー タブレット	12	単元の問い(仮)「現在の日本の自然環境や人口、産業には、どのような特色があるだろうか。」 ・日本の自然環境や人口、産業の特色について、諸資料の読み取りをもとに理解し、その知識を身に付けている。 ・様々な地域区分を使い、地域的特色を示す方法を身に付けることができる。	・目的に応じた適切な地域区分を判断し、設定するために様々な面から考察し、表現している。	・現在の日本の自然環境や人口、産業にはどのような特色があるかという学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
7 9	地理 3-1 九州地方	プロジェクト ー タブレット	6	単元の問い(仮)「九州地方の自然環境と人々の生活にはどのような関わりがあるだろうか。」 ・九州地方の自然環境を中核とした考察をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・九州地方の自然環境を表す諸資料から地域的特色を示す有用な情報を読み取り、活用できている。	・九州地方の自然環境へ向けた取り組みをもとに、持続可能な社会へ向けて、様々な立場から考察し、表現している。	・九州地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
10 11	地理 3-2 中国・四国 地方	プロジェクト ー タブレット	6	単元の問い(仮)「本州四国連絡橋は地域にどのような影響を与えたのだろうか。」 ・中国・四国地方の特色を自然環境、産業、結び付きなどの事象から関連つけて理解している。 ・主題図(人口分布・密度)雨温図、統計(人口動態・構成)景観写真等から、地域的特色を適切に読み取っている。	・人口や都市・村落を中核として、そこに生きる人々の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・中国・四国地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

12 1	地理 3-3 関東地方	プロジェクタ ー タブレット	6	単元の問い(仮)「修学旅行で伝統文化や環境保全を学ぶ理想のルートを開発しよう！」		
				・関東地方の地形や気候の特色, 首都機能, 東京大都市圏の拡大, 人口が集中することによって発展した産業の特色, 京浜工業地帯, 京葉工業地域, 北関東工業地域の特色などを基に, 関東地方の地域的特色や課題を理解している。 ・交通や通信を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と, それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解している。 ・地図や雨温図から関東地方の地形や気候の特色を適切に読み取る。 ・主題図や統計資料, 景観写真等の各種資料を用いて, 焦点化された事例である東京大都市圏が鉄道網に沿って放射状に拡大していることや第三次産業が盛んであることなどを適切に読み取っている。	・関東地方において, 交通や通信を中核設定した事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。	・関東地方に関する学習について, 見通しをもって学習に取り組もうとし, 学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
2 3	地理 3-4 中部地方	プロジェクタ ー タブレット	5	単元の問い(例)「東海地方・北陸地方・中央高地の産業の発展にはどのような要因があるだろうか。」		
				・中部地方の産業を中核とした考察をもとに地域的特色を理解し, その知識を身に付けている。 ・中部地方の産業の実態を表す諸資料から地域的特色を示す有用な情報を読み取り, 活用できている。	・中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察をもとに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・中部地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
評価材および評価方法				【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○定期考査○振り返りシート	【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○定期考査○振り返りシート	【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○振り返りシート